

どんな舌ブラシがいいの？

毎日使うものだから

舌にやさしく、使いやすいブラシを選びましょう。

ポイント

舌をいためない。

舌苔がしっかりとれる。

ブラシタイプ

ヘラタイプ

・引っ掻きながら清掃するので、舌を傷つけやすい。

歯ブラシタイプ

・舌表面の凹凸や舌乳頭の隙間にフィットしにくい。

ねじりブラシタイプ

- ・舌にやさしくしっかりフィット。
- ・刺激を与えず、効果的に舌苔を除去。

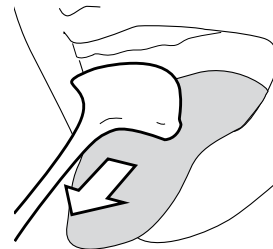
舌フレッシュ がおすすめです。

要介護者の方への使用にも配慮した設計です。

舌フレッシュの使い方

朝の歯みがき前のご使用をおすすめします。
数日に1回、多くても1日1回で十分に効果があります。

- 1 舌をできるだけ前方に突き出します。
- 2 ハンドル部を軽く握り、カガミを見ながら舌表面にブラシを当てます。
この時、あまり奥までブラシを挿入しないでください。



- 3 軽い力でゆっくりと前方に引き出すようにして数回ブラッシングします。
舌が痛いと感じるほど力を入れないでください。
- 4 ご使用後はブラシや受け皿部をきれいに洗い流して、通気性の良いところに保管します。

※掲載の希望患者価格は、2019年10月現在のものです。
※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。

詳しくは当院におたずねください。

株式会社 ジーシー お客様窓口 ☎0120-416480
東京都文京区本郷3-2-14 受付時間9:00am.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祝日を除く) PA012E1910

もう一つの口腔ケア
毎日の習慣——
舌もブラッシング。

舌ブラシ

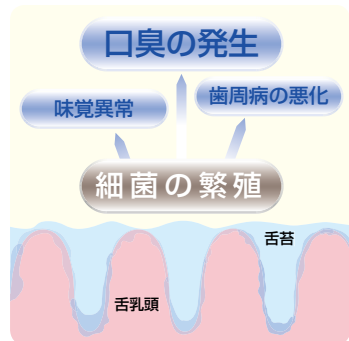
ジーシー 舌フレッシュ
ゼツ

GC

舌が汚れてるって知ってますか？

鏡で舌を見ると、白っぽいものが付いていませんか？これは舌苔(ゼツタイ)という舌の上に溜まった汚れです。お口の清掃というと歯だけが注目されがちですが、実は舌も汚れているのです。

舌苔ってなに？

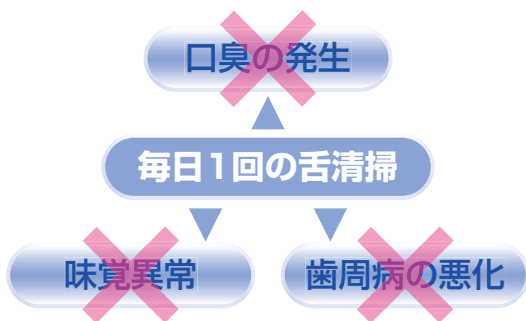


舌の表面には舌乳頭という無数の突起があります。この間に溜まった汚れが舌苔です。舌苔が溜まると味が正常に感じられないだけでなく、口臭の発生や歯周病を悪化させる原因にもなります。舌苔の溜まった舌は細菌の温床といえます。

介護が必要な方に起こりやすい誤嚥性肺炎の原因にもなっているといわれています。

舌のメンテナンスもはじめましょう。

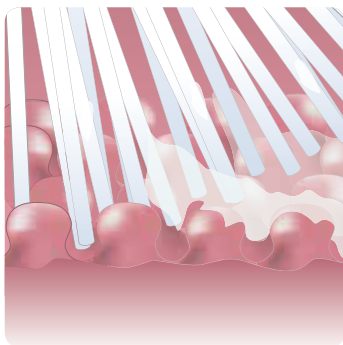
舌は柔らかく、非常にデリケートな器官です。舌表面を傷つせず、しかも効率的に舌苔を取り除くには舌磨き専用ブラシをおすすめします。毎朝の歯磨きに舌清掃を加えることでフレッシュなお口を保ちましょう。



これが舌ブラシの理想的なカタチ。

傷つけない、いためない…「舌にやさしい」が基本です。

歯ブラシより細い極細毛



舌乳頭の隙間に入りやすい「ねじりブラシ」が、やさしく舌苔を取り除きます。

柔らかネック

握りやすく長いハンドルで、介護者の方でもらくらくブラッシング。

スプーン状の受け皿

かき出した舌苔が集まります。

ブラシ幅があるので、舌苔を一気にかき出せます。

舌の表面にフィット



舌の凹凸にフィットするブラシ形状です。

全長 18cm
(ハンドル部 9cm)

※写真は原寸大です。

舌ブラシ

ジーシー 舌フレッシュ

色調：ブルー 希望患者価格：1本＝¥870(税込)